

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 \_\_\_\_\_

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( \_\_\_\_\_ )

住所 〒731-4214

広島県安芸郡熊野町中溝6-1-1

E-mail : [kumanojh@piano.ocn.ne.jp](mailto:kumanojh@piano.ocn.ne.jp)

Website : <http://www15.ocn.ne.jp/~kumanojh/>

児童生徒数：男子 136名 女子 165名 合計 301

名

児童・生徒の年齢 13歳 ~ 15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( \_\_\_\_\_ )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

熊野町は、古くから筆産業が盛んであり、昔から「筆まつり唄」「筆踊り」など、地域の伝統文化として伝承されてきた。保護者の多くも筆に係る仕事に従事している。

熊野中学校は、平成 14 年度より、総合的な学習の時間を使って「地域文化の伝承と創造」をテーマにして、毎年、組曲「筆の都くまの」の製作に全校で取り組んでいる。これは、町内に現存する「筆まつり唄」や「筆踊り」を発展させ、和太鼓、篠笛等の和楽器を取り入れて創作したもので、約 30 分間全校生徒で発表するものである。本年度は 11 代目の発表が実現できた。

毎年、学校の体育祭や文化祭だけでなく、地域の行事である「筆まつり」のふれあいステージや「町民体育大会」のアトラクションでも披露し、現在では町内外に「熊野中学校の組曲」として定着し、好評を得ている。

この取組を進めるにあたって、地域の多くの方々から指導・助言をいただいている。筆踊りの指導にあたっては、振り付けの意味や踊りに込めた思いも踏まえながら、町内の女性会の方々から指導をいただいている。体育大会で組曲の前に、地域に伝わる「彼岸船」の紹介をするが、その彼岸船の飾り付けや引っ張り方など、彼岸船保存会の方の指導を受けている。体育祭で準備した彼岸船は「筆まつり」で町の大きな彼岸船とともに町内をねり歩き、町民にアピールしている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ )